

受託製造事業を本格展開

半導体・電材
高純度品など 広範ニーズ対応

シプロ化成

シプロ化成(福井県坂井市)は、半導体や電子材料など超高純度対応が求められる多様なフラインケミカル製品・同中間体の受託製造事業を本格化する。業界でリーディングポジションの紫外線吸収剤や酸化防止剤の製造と事業展開で蓄積したppb(10億分の1)レベルの超低メタルかつ不純物フリー製造技術に加えて、本社工場に持つ豊富な特殊反応釜や減圧乾燥設備を生かし、「多品種少量の試作から、一定の量産規模まで対応する受託製造事業を次代へ拡大させる重点分野の一つと定めた(白石泰章社長、専用ウェブサイトを刷新して対応する設備や反応釜などの概要も公開、高純度化学品、半導体や電池向け電子材料のほか、広範な受託製造ニーズに今後、活発に対応していく考え。

多品種少量・量産規模まで

シプロ化成は来年、創業60周年を迎える業界大手の一角。日本で初の紫外線吸収剤を事業化し、ベントリアノール系、ペ

入っており、高機能添加剤による樹脂や材料などの耐久性アップ、機能向

酸化防止剤、防錆剤に加え近年では、ppbオーダーの製造対応技術を活用して半導体周辺材料の展開もスタートしたところだが、さらにフラインケミカル全般となる受託製造事業も本格的に注力し、紫外線吸収剤や酸化防止剤、防錆剤といった既存事業へプラスする。また酸化防止剤や防錆剤の取り扱いにも力を



シプロ化成本社工場内。複数持つ減圧乾燥ラインの一つ

品を含めた減圧乾燥装置で、反応から乾燥まで一貫した受託製造対応が可能。すでに同社ウェブサイトで受託製造事業の専門ページを刷新し、電子部品や半導体産業のグレードに応じた高純度対応の受託製造設備を広く公開している。